

就労妊婦等メンタルヘルス向上と離職防止のための、
専門家「助産師」とAI（声解析）による継続的なサポート実証事業



じょさんしONLINE

成果報告資料 2023.2.17

Agenda

1. 事業計画（事業目的と実施事項）
2. 事業計画に基づき実施したこと
3. 本事業の成果
4. 本事業の課題
4. 今後の事業展開

事業計画

専門家「助産師」 × AI（声解析）



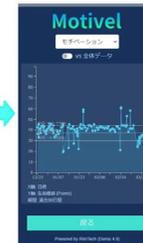
世界6か国13人の助産師



Motivel

声でモチベーションを可視化する
Webアプリケーション

声だけ、5秒で計測



【分析】

- ・リスク計測テクノロジーズ株式会社 岡崎貫治氏
- ・メンタルヘルスサポート研究所 倉成央 臨床心理士

豊島株式会社 オーエスジー株式会社 株式会社名古屋銀行 豊橋市
神戸商工会議所 神奈川県 小田原市 刈谷市 他、公募

就労妊産婦等のメンタルヘルスに対し、専門家「助産師」とAIが
リスクの早期発見とうつへの予防効果を発揮



就労妊婦等のwell-being維持・向上へ（自殺/虐待を防止）

検証事業の4つの柱

就労しながら妊娠・出産・育児する**女性**への **オンライン個人相談**



- 1回30分 × 月に1回程度
- 継続的に専属助産師と

助産師による継続的な関わりで安心を

パートナー向け**セミナー**



- 1回90分
- 参加型のオリジナルセミナー

パートナーの当事者意識の向上を

上司への**1on1ヒアリング**



- 1回30分程度

上司目線から職場環境の実態を明らかに

企業向け

フィードバックセミナー



- 検証事業内容から得られたことをフィードバック

リアルな声を社内の経営層や人事部に

成果 指標

実証事業前後でのアンケートと個別相談毎にAI声解析Motivel数値の検証

- ・ 不安が軽減した参加女性の割合
- ・ 声アプリMotive!での感情指数等が維持もしくはプラスに変化した参加者の割合 等

事業計画に基づき実施したこと



オンライン個人相談

参加目標数：15名 実施計画数：90回

- 21名の女性に延べ115回実施 頻度は女性の状態に応じて1~4週間
- 20名の女性が2回以上の継続利用 継続率95% 平均5.5回 (2~11回)



パートナー向けセミナー

実施計画数：1回

- 妊婦向けセミナー2回・産後向け座談会2回を開催 (本事業オリジナル内容)
- 14組26名 (12名のパートナー) が参加



上司1on1

実施目標数：15名

- 37名の上司に1on1ヒアリングを実施 (希望者は45名)
- 183名の上司からアンケートを回収



フィードバックセミナー

実施計画数：1回

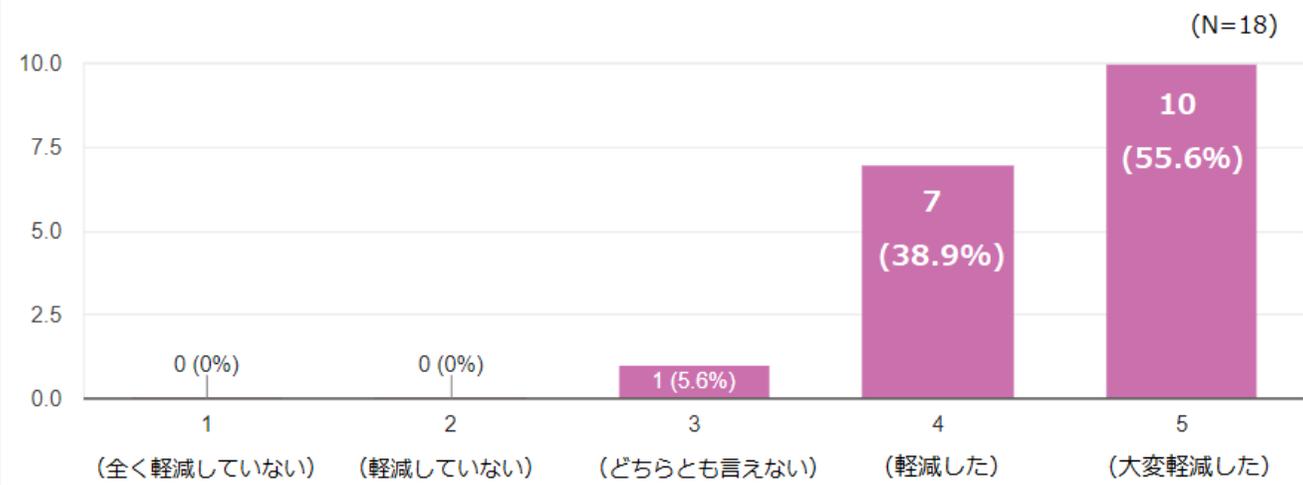
- 1回 (60分) 開催 + 2週間のアーカイブ視聴
- 35名がリアルタイム参加 + 27名がアーカイブ視聴
- 26名からアンケートを回収

事業の成果：オンライン個人相談

アンケート・Motivel 両方の結果から、**参加女性の不安が軽減**していた。

- **94.5%の女性が「不安が軽減した」とアンケートで回答。**

1. 検証事業に参加し、相談先（じょさんしONLINE）があることで不安が軽減しましたか？



- 継続利用によって、Motivelの**fearful**(心配・不安の指標)の**平均値が低下**。

各個人の平均値

初回時よりも**2回目以降に全員が低下**

初回：38.1～62.2 → 2回目以降：31.4～53.6

(最小差：2.1 最大差：19.0)

全体の平均値

初回時よりも**2回目以降に低下**

初回：48.7 → 2回目以降：41.8

事業の成果：オンライン個人相談

Motivel の結果から、継続的な利用によって、**参加女性のメンタルヘルス向上に繋がる可能性が示された。**

- 助産師と話をすることで妊婦の**精神的な安定度が増す**可能性が示された。
- 助産師を信頼し、**感情・本音を表出できた**可能性が示された。

➔ **本音を表出することはストレス低減に効果的**であり、**感情・本音を表出することは、身体的・精神的な健康において重要。**

参加女性の声



「ちょっとしたことでオンラインで気軽に相談が可能のため、心の安定面と情報の得やすさが確保され、仕事との両立が容易になると感じました。」



「医学知識を持った、専門の方にお話を聞いて頂けることは、とてもストレス軽減に役立ちます。」



「妊娠出産育児は初めてのことばかりなのに正解がなく不安になることが多いが、相談する相手がいるということでその不安が取り除け、余裕が生まれると思います。」



「精神的な心の支えになりました。自分の会社の状況しか知らないと盲目的になり無理をしそうですが、他社の現状も踏まえて助産師さんからアドバイスを貰うことが出来ると思うと心強いです。」

本事業の共通指標について

共通指標 ①

- 絶対的プレゼンティズムが改善した人：47.4%
- 相対的プレゼンティズムが改善した人：36.8%
- ➡ 対象者の特性（妊娠中・産休中・育休中の女性）であることが大きく影響

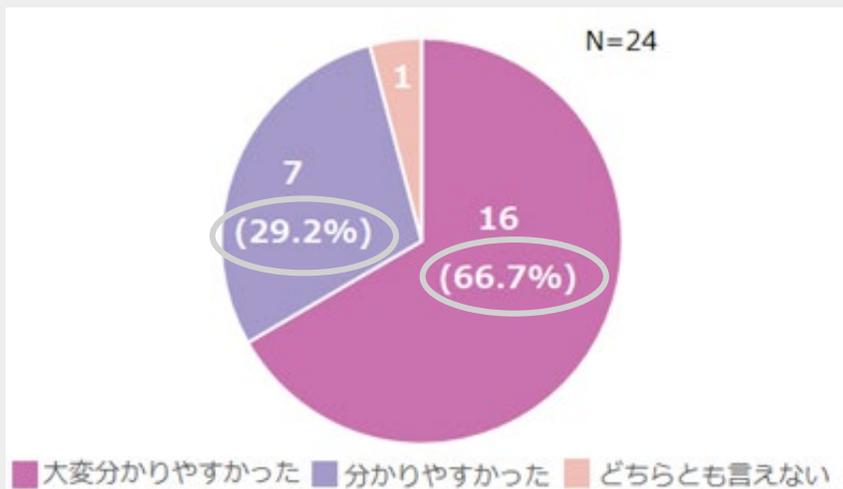
共通指標 ②

- 「解決策/緩和策の認知」が改善した人：52.6%
- 「他者・組織への相談先の認知」が改善した人：57.9%
- ➡ 今回の事業を通じて、助産師が解決策/緩和策の1つと認知されたと考える

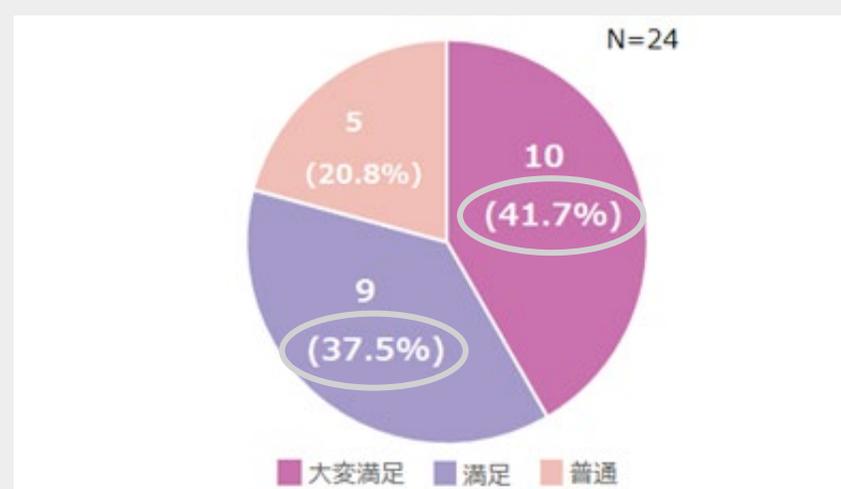
- 「健康課題がキャリアに及ぼす影響度の認知」が改善した人：26.3%
- ➡ 検証事業が短期であったこと、対象者が事業開始時もしくは終了時に産休・育休中であるため、仕事やそれに関連して具体的に本事業のキャリアへの影響を実感しづらかった可能性

事業の成果：パートナー向けセミナー

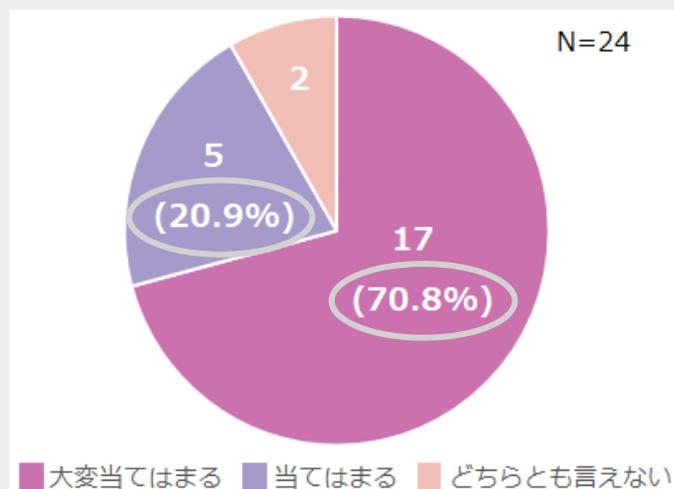
- **理解度** (分かりやすかった) は、**95.9%**



- **満足度**は、**79.2%**



- **パートナーシップ**について考えるきっかけになった人は、**91.7%**

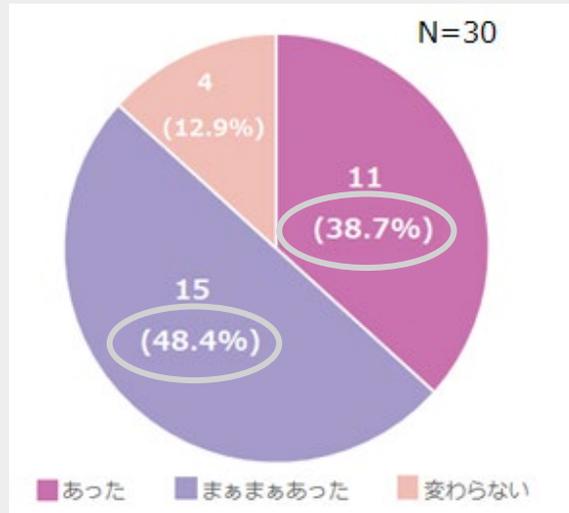


参加者の声

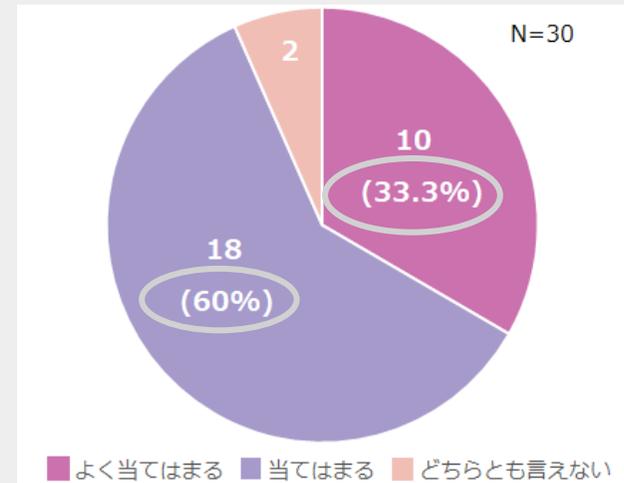
- 「何となく理解しているつもりでも、価値観の違いがあることに気づけた。」
- 「色々な資料や方法などの例があり、妊娠期、産後にかけて活用できる内容が知れたのが良かったです。」
- 「男性も産後の問題を抱える可能性があるということを知ることがとても良かったです。自分のことも考えてもらえるからこそ、相手のことも理解しようと思えることができました。」
- 「パートナーの認識確認や先のことを対話する機会になったことが良かったです。」

事業の成果：1on1ヒアリング

- ポジティブな気持ちの変化があった人は、**87.1%**



- チームを見つめ直すきっかけになった人は、**90.4%**



Motivel の結果から、本音を表出することで
カタルシス効果が得られた可能性が示された。

- 本音（自己開示） = 抑うつ症状や身体症状が軽減・自己価値を高める可能性が示された。
- カタルシス効果と他者からのフィードバックを獲得 = ストレス低減

1on1ヒアリングを受けた管理職の方の声



自分の立場では、育児中の方と一緒に仕事をする中でしんどいこともある、と思う事自体が許されないような感覚がありました。でも、評価なく話を聞いてまっすぐ受け止めてもらえる場があったことで、心が軽くなりました。



今回は自分の育児と仕事の両立の話になってしまいましたが、普段話すことがなく、聞いてもらえただけでもスッキリしました。



セミナーだけではなく、1on1ヒアリングをしたことによって、様々な角度から自分を見つめなおす良いきっかけになりました。



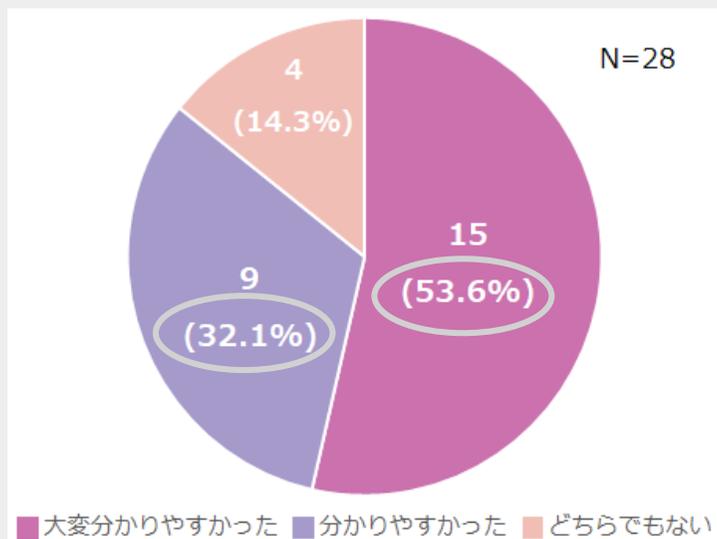
自分が日頃気にかけていた事や行動は間違っていないのだと自信が持てました。



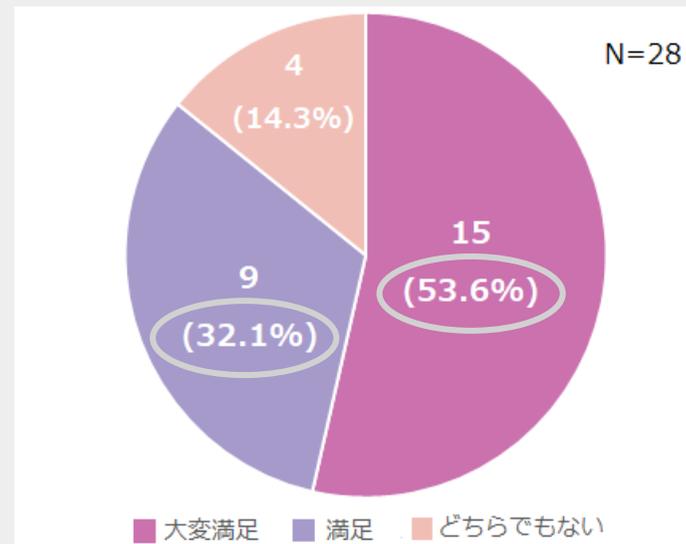
部下を応援したい気持ちはあるが、プレイングマネージャーとして大変です。正直人員も足りないですし、自分たちで何とかしないといけないのでしんどいです。

事業の成果：フィードバックセミナー

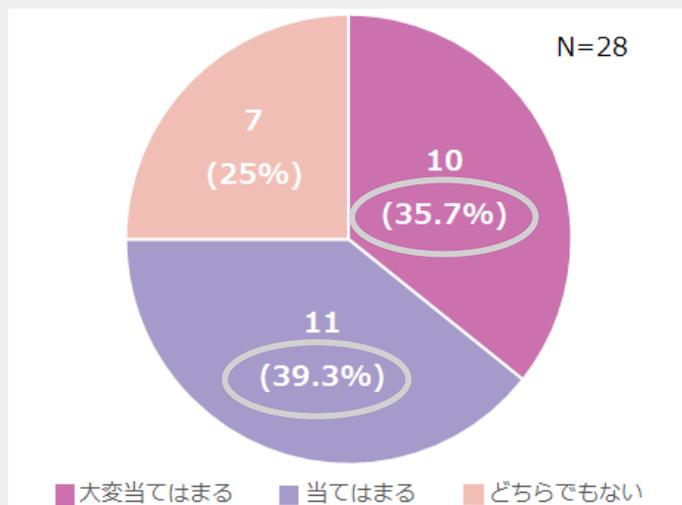
● 理解度 (分かりやすかった) は、85.7%



● 満足度は、85.7%



● 職場づくりについて改めて考えるきっかけになった人は、75.0%



参加者の声



「アンケートでの主観的な結果に加え、AIを使い、客観データでの検証の部分が興味深かったです。」



「当事者のみならず上司も悩みを抱えているため、両方へのアプローチは大切であると感じました。」



「誰かかわいそうな人のためにやってあげているということではなく、長い目で見れば自身も「制約がある状態」になるかもしれないという視点に変えることや、想像力を高めることが大事だと思います。また、組織全体で様々な制約を取り除く努力をすることがチーム全体のパフォーマンスにつながることを理解することが大事だと思います。」



「よりよい妊娠・出産・育児ができる環境を整えていくには、当人（父親・母親）の問題だけではなく本当に様々な課題が絡み合っているなど改めて感じました。」

本事業の成果

オンライン個人相談



就労妊婦や育児中の女性を**助産師が継続支援**することは、**女性のwell-beingの維持・向上に効果的**であることが示唆された。

パートナー向けセミナー



必要な知識を得られるだけでなく、妊娠期～育児期において**重要なパートナーシップの構築や改善にも効果的**である。

上司1on1



職場で抱えている葛藤や本音を、職場とは全く関係のない、且つ受容的傾聴的な態度の第3者に話すことは、**部下をケアする上司の心身の健康状態に影響する**可能性が示唆された。上司の心身のケアも大切。

フィードバックセミナー



ダイバーシティの観点での職場づくりについて考えたり、取り組みに繋がるきっかけになった可能性がある。

本事業の課題と今後の展開

本事業の課題

- 妊娠中または産後1年以内の方を対象としたため、企業内でも対象となる母数自体が少ない
- 産前産後で心身の状態や環境の変化があまりにも大きく、単純に利用前後だけで評価することは難しい
- 出産直後や産後の育児に忙しい中でも気軽に予約できるシステム
- パートナーの事業への参加や育児参画が参加女性の意思に委ねられている
- 1on1ヒアリングの時間設定（1回30分）や頻度（1回）によっては、より深い内容や本音のヒアリングが可能だったのではないかと

今後の展開

- より効果的なMotivelの活用方法の模索（より予防な視点での活用と助産師教育及びサービスの質向上）
- 自分の困りごとや選択肢に気付くことができるよう、妊娠前から情報にアクセスできる環境づくり及び、職場内で多様な人材の背景にある事を知る機会作り
- 産前産後の当事者への支援だけでなく、その方々をサポートしている同僚・上司の支援も行い、社内全体で互いの状況・考えに歩み寄れる職場づくりの支援
- 妊娠・出産に関連した様々な経験（不妊治療や流産、死産など周囲には話しにくい個人的な内容）を抱えている女性へのサポートと周囲理解の促進
- 女性の心身の健康をサポートできる包括的な仕組みを、企業だけでなく、自治体や病院などと共に構築する

世界のどこにいても
誰もが自分の心と身体を 大切にできる社会の実現を



お問い合わせ



じょさんしONLINE

いろんな出産。さよなら不安。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



弊社の取組にご関心のある
自治体様、企業様のご連絡お待ちしております。

info@josanshi-cafe.com

050-3580-3834